

令和元年度 足立区地域自立支援協議会 相談支援部会 報告書（案）

<部会の目的>

相談支援に関する諸課題を検討・整理し、相談支援体制のより充実させる。

今年度は特昨年度から検討している基幹相談支援センター（以下「基幹」）の役割に加え、令和2年度末までに整備する地域生活支援拠点（以下「拠点」）のあり方について検討した。

<令和元年度の重点課題>

- (1) 基幹に期待したい役割について
- (2) 拠点に求めたい機能について

<重点課題に対する取組み報告>

障がい福祉課から、相談支援の計画策定状況等の資料等を提供してもらい、相談支援体制について体制等状況確認を行った。また、現状把握の資料として、相談支援事業所ネットワーク（以下「ネットワーク」）参加事業所より提出していただいた緊急対応の事例や、くらし部会で集約した各法人等が個別に実施している事業等の情報を提供していただいた。

<取組みの中で抽出された課題>

基幹と拠点に求めたい役割、機能は重なるところがあるが、足立区で求められる課題について、部会の中では以下の通り整理した。

(1) 基幹に期待した役割

- ①相談支援事業所の絶対数の不足し、計画相談が必要な区民が対応可能な事業所を探すのに苦慮している。
基幹には一次窓口として対応可能な事業所を案内するなどの一時窓口の機能を求めたい。
- ②基幹に配置されている専門職を活用し支援困難な方などの連携対応を行って欲しい。
- ③相談支援専門員の質の向上のため、必要な情報、知識が随時習得できるなど体制のため、ネットワーク活動の充実を図っていただきたい。

(2) 拠点について

緊急時に適宜相談や対応が出来る機能が欲しい。特に区内の短期入所は事前予約で埋まっている状況があり、養護者突然の病気などの緊急時に対応できる機能が望まれる。

<来年度以降の取組み>

- (1) 相談支援体制及び基幹の役割については次年度以降も引き続き検討を行っていく。
- (2) 今年度は、緊急対応事例の収集でネットワークと連携を行ったが、来年度以降ネットワークとの連携や情報共有をさらに図っていく。
- (3) 今年度精神障がいの家族会の委員が欠員であった。相談支援部会として必要な委員構成について検討していく。